

四委員会合同研修会

研修日時：4月23日（木）

研修場所：茨城県つくば市

研修内容：「iias（イーアス）つくば」視察及び「サイバーダイナスタジオ」見学

研修概要：

今回で10回目を迎えた四委員会合同研修会は、つくば市の「イーアスつくば」を訪問しました。

秋葉原から「つくばエクスプレス」で約50分、「研究学園駅」前徒歩4分のところにある北関東最大級のショッピングモールです。昨年の10月29日にオープンしたこの「イーアスつくば」は、敷地面積が約4万4000坪と東京ドーム3倍の広さ。（この「イーアスつくば」を）案内していただいた、大和ハウス工業株式会社の有野さんによると、平成17年に開通した、つくばエクスプレスにより東京へのアクセスは容易になり、沿線には続々と新たなマンションが建設され流入人口も増えているとのこと。つくば市の人口も年々3%ずつ増加し、イーアスつくばには、平日で約3万人、日・祝日には5万人が来場されるそうです。



iias（イーアス）つくば外観



iias（イーアス）つくば内にて



大和ハウス工業の有野さん（左）

私達が最も興味を引いたのが、インモールの2階にある「サイバーダイナスタジオ」。

ここは、介護支援や障害者の自立支援をサポートするロボットスーツ（HAL）の研究・開発を手がけ日本の最先端の技術を実演・体感することができる施設です。ここを案内していただいた宮川支配人（サイバーダイナ株式会社）には、人類最初のロボットから最先端のロボットまでを分かりやすく説明していただきました。

日本最古のロボットは、270年前に木とゼンマイで作られたお馴染みの「茶くみ」だそうです。



ロボット工学の3原則は、

- ① 人をキズ付けてはならない
- ② 人の役にたたなければならない
- ③ ロボットは自ら守らなければならない

これがロボットを製作する上でのベースになっているとのことでした。

また、体験コーナーでは、実際にロボットスーツ（HAL）を装着することもできます。ここでは単に装着するだけでなく、どうしてこのような動作をするの

かの仕組みを体験させていただきました。天気にも恵まれ、とても有意義な研修旅行となりました。（11名参加）

（関連記事：会報 NO.180 掲載）